

ビールフェスタで 飲酒運転根絶活動

全運協北海道



飲酒運転をなくそうと思いを
つづる子どもたち

キリンビールの北海道千歳工場で23日、ビアフェスタが開かれ、全国運転代行協会北海道支部(樋渡義章支部長)の所属事業者らが

21人、随伴車7台の体制で待機。1万2千人が来場した中、飲酒運転対策に活躍した。シェイ・ディ共済協組(丹澤忠義理事長)の協力を受け、子ども書道コンクール作品の展示や、体験書道、意識調査など飲酒運転根絶活動も行った。同イベント協力は今年で2回目。

啓発活動では、展示作品だけでなく、作品集を1枚1枚めくって見る人が多く、書道体験も好評だった。意識調査は運転代行利用者と非利用者で質問を分け、100人以上に実施。協会などで分析し活用する。代行のPRグッズも配った。

樋渡支部長は回答内容について「飲酒運転を注意したいが怖くて、見て見ぬふりをする」など率直な意見が聞けた」と語り、意識改革の必要性に言及した。

◆茨城県でも祭りではビール 茨城県土浦市で2日に開かれた土浦キラまつりでは全国運転代行協会茨城県支部(中山一夫支部長)が飲酒運転根絶キャンペーンを展開。中川清市長や土浦商工会議所会頭も来賓参加し、好評だった。